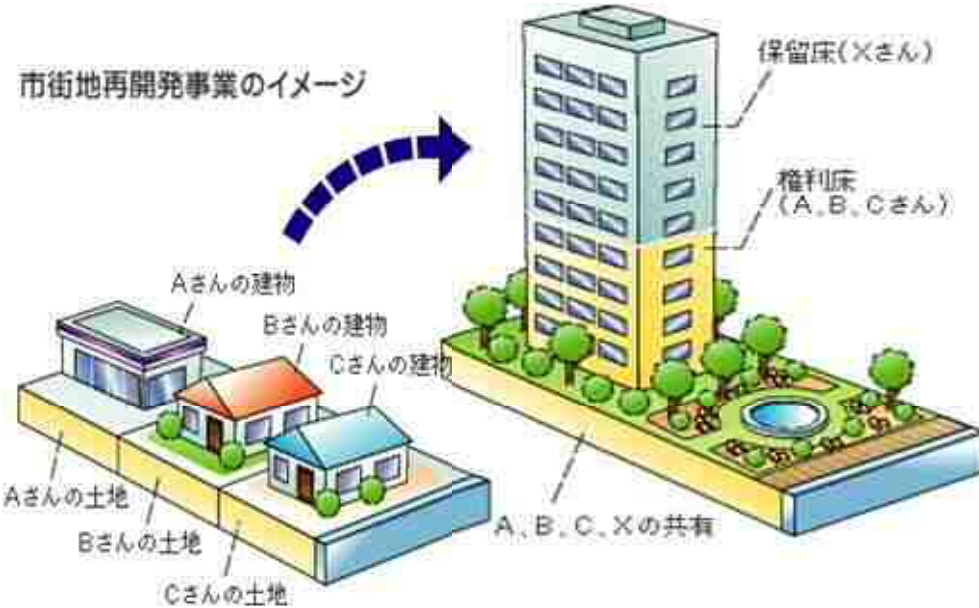


古町通7番町地区第一種市街地再開発事業について

1. 第一種市街地再開発事業とは

従前建物・土地所有者等に、従前資産の価額に見合う再開発ビルの床(「**権利床**」)を与えるとともに(「**権利変換**」)、土地の高度利用によって生み出される新たな床(「**保留床**」)を処分し、事業費の一部とする事業であり、**都市機能の更新・防災面の整備など重要な役割を果たす公共性の高い整備手法**。



2. 古町通7番町地区第一種市街地再開発事業の計画概要

①地区の現況

施行区域面積	約 0.8 ha
建築敷地面積	約 5,200 m ²
建築面積	約 4,100 m ²
建ぺい率	78.8 %
延床面積	約 29,000 m ²
容積率	557.7 %

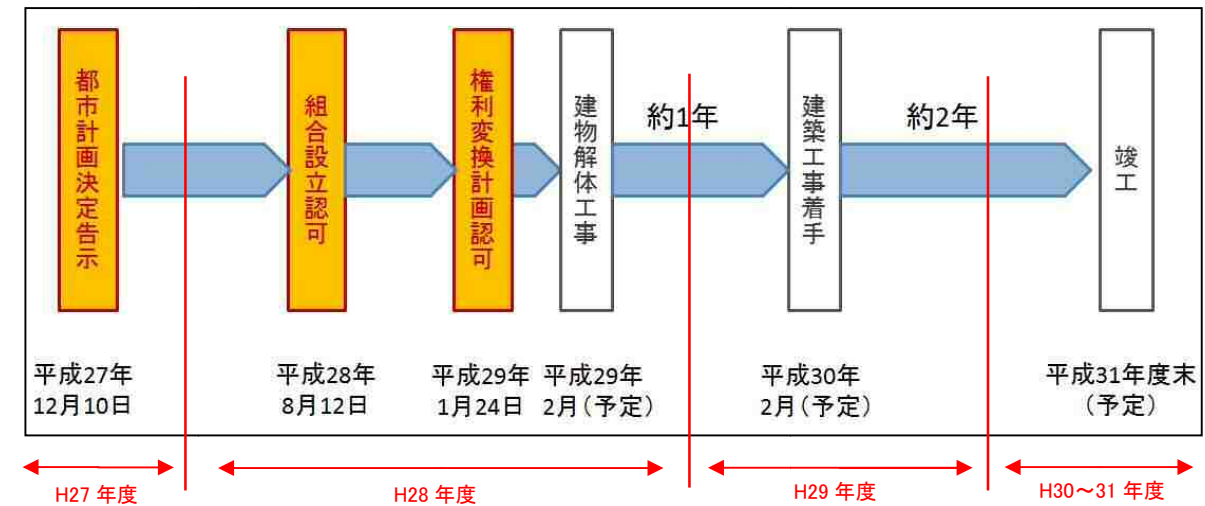
凡 例	
	施行区域
	木造
	鉄骨造
	鉄筋コンクリート造又は鉄骨・鉄筋コンクリート造
・数字は階数を表す	
・数字が未記入の建物は2階以下	



施行区域内の建物の築年数は概ね 40～60 年以上

②再開発事業の計画概要(H28.12.26 事業変更認可)

施行者 古町通7番町地区市街地再開発組合
組合員 12名(理事長 高橋 直道)
区域面積 約 0.8ha
延べ面積 約 33,270 m²(容積率 約 611%)
主要用途 商業施設・業務施設
事業期間 平成27年度～平成31年度



③配置設計図(1階平面図)



古町通7番町地区第一種市街地再開発事業について

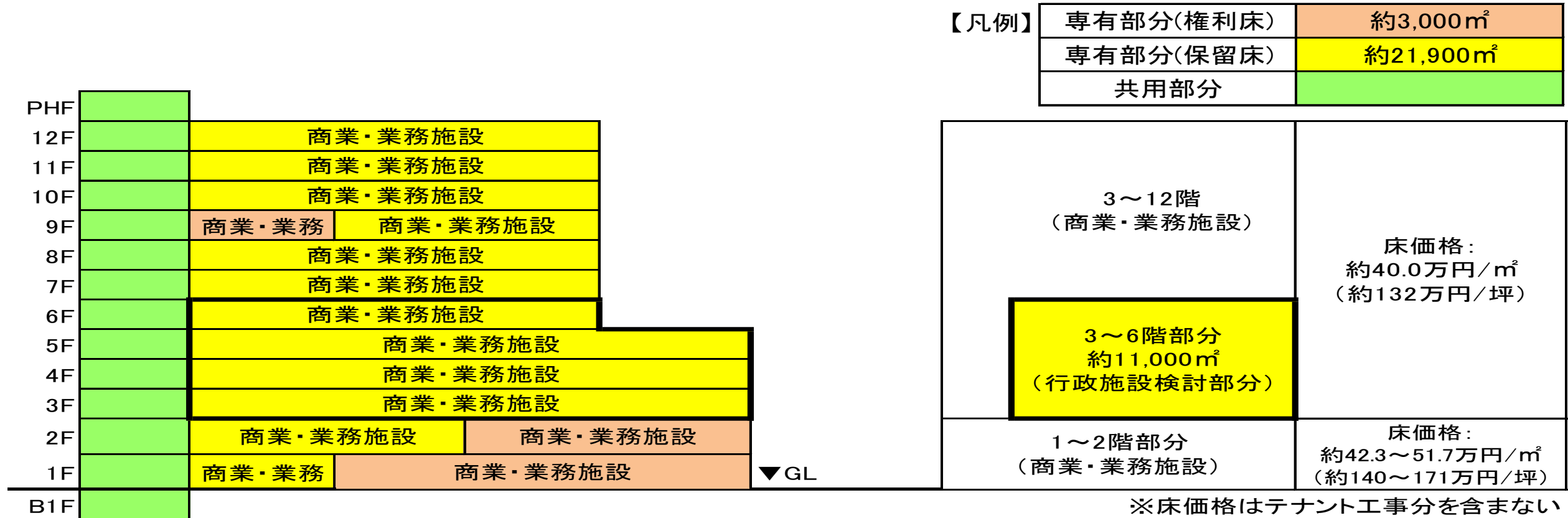
総務常任委員会
平成29年1月31日
まちづくり推進課

資料2-2

2. 古町通7番町地区第一種市街地再開発事業の計画概要

④再開発事業の権利変換計画(H29, 1. 24認可)

施設建築物の床配置



⑤再開発事業の資金計画(H28, 12. 26 事業変更認可)

